



俳句

玉井北男 選

冬枯るる鳥の一声甲高し
 とうど焼くけむりや古き友の顔
 満天の星にも届け除夜の鐘
 故里を老いて捨てたる寒さかな
 石鎚山の墨絵ぼかしや春の雨
 寒椿静寂にして紅さえし
 廃校に防火用水山眠る
 観覧車ゆっくり廻る遠霞

高橋和子
 岡田久夫
 青野義明
 藤崎 泉
 松木末子
 菅 博武
 寺町ゆづる
 青野ヨシエ

川柳

山之内さら枝 選

千の風地元が誇る人気者
 機械じゃない熱い血潮がたぎってる
 信じ過ぎ疑い過ぎ見るテレビ
 孫抱ける幸せくれた娘に感謝
 地球儀のここが四国と孫の指
 喜怒哀楽みんな知ってる床柱
 手つかずの朝が僕を待っている
 わが冬の詩集に眠る春がある

加藤泰子
 日野淳子
 長谷川洋子
 新名小夜子
 秋山繁雄
 徳永チエ子
 濱井博道
 今西比呂之

短歌

田坂 幸 選

ひとり居の長き暮しの吾にして八十五歳は走る
 ごと来ぬ 鈴木千恵子
 下校児はキウイ剪定する吾にさよならと今日
 も挨拶くるる 渡辺敬子
 来むわれの姿と思ひ呆けし義母の歩き行く背
 にそつと手を添ふ 内田加保留
 振り向けば遠い昔の思い出がふと蘇る八十の
 道 曾我部水位山
 夕焼の空にそびえる石鎚山の頂き染めて紅の
 広がる 工藤幸子
 三キロの馬鈴薯ひとりふせ終へてゴマ和へせ
 むと花菜摘みたり 伊藤静子
 この幾日灯りともらぬ向ひ家を折りをり仰ぐ
 秋刀魚焼きつつ 真鍋良子
 ものの芽の動く心配す我が庭に朝しづかに細
 き雨降る 松本都子

俳句・川柳・短歌 作品募集

■ 作品（俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください）・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先

〒793-8601 明屋敷164
 市庁舎本館 総務課 広報情報係
 TEL 0897-56151 内線2128

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No.24 僕は子どもです



▲外国語指導助手
 マシュー・ラッセルさん

僕は剣道をしています。この間自分の先生の稽古を見て、すごく驚きました。

先生の相手は8段の先生でした。僕の先生はとても強いのですが、その2人の稽古を見ながら、先生は何十年も頑張っているのに、その8段の先生と一緒に稽古している姿は、子どものように見えました。当然、僕はまだまだ未熟です。まだ子どもですから。たぶんその先生と一緒に稽古したら、まだ生まれただばかりの幼子のような気がします。自分の命が終わるまで頑張っても、まだまだ足りないと思います。

つまり、こんなに成長できることもあると思います。例えば、反省をしてみると、そういうことは剣道だけではないと思います。何でもその上があります。僕はそんなに弱いのかと思ったら、ちょっと悔しいですが、ほんとは感謝することだと思います。そんなに上があるのなら、毎日頑張れば、頑張るおかげで、毎日もっと強くなれます。今から何年たっても、僕はまだまだ子どもだと思います。それはとても幸せなことですね。子どもでよかったです。頑張りましょう。頑張れば、もっともっと大きい人間になれるのですから・・・。